



特許願 (1)  
(特許法第88条ただし書の規定による特許出願)  
昭和60年9月14日

特許庁長官殿

1. 発明の名称 **アキイドロソウチ  
座席移動装置**
2. 特許請求の範囲に記載された発明の数 **2**
- 2 発明者 **ヘンカンガワタレアラオ  
神奈川横浜市神奈川区西寺尾714番地  
アキヤマノリノト 外1名**
3. 特許出願人  
**神奈川横浜市神奈川区宝町2番地  
(399) 日産自動車株式会社  
代表者 岩越忠恕**

4. 代理人 **〒130  
東京都墨田区江東橋3丁目9番7号 国宝ビル内  
弁理士 (6219) 志賀富士雄**

5. 添付書類の目録

- |         |    |
|---------|----|
| (1) 明細書 | 1通 |
| (2) 図面  | 1通 |
| (3) 願書  | 1通 |
| 委任状     | 1通 |

50 105819



明細書

1. 発明の名称 **座席移動装置**
2. 特許請求の範囲  
(1) 取付台に固着され数個のスライド調節孔を有するロアレールと、このロアレール上を滑動できるように座席に固着されたアッパレールと、このアッパレールに取着され操作レバー又は前倒れ装置に連動して前記アッパレールと前記ロアレールに係脱するラツナプレートと、前記ロアレールの所定位置に取着され前記ラツナプレートの係脱作動を過制的に規制するレフタープレートを備え、前記ラツナプレートは前記スライド調節孔に係合、離脱するラツナ爪と、前記レフタープレートに係合するメモリ爪とを一体形成してなることを特徴とする座席移動装置。

① 日本国特許庁

## 公開特許公報

① 特開昭 52-31424

④ 公開日 昭 52. (1977) 3. 9

② 特願昭 50-105819

② 出願日 昭 50. (1975) 9. 1

審査請求 **有** (全8頁)

庁内整理番号

6839 36

⑤ 日本分類

80 B6

⑤ Int. Cl<sup>2</sup>

B60N 1/04

敬。

- (2) 前記特許請求の範囲第1項記載の座席移動装置において、前記メモリ爪先端部を湾曲形成すると共に、このメモリ爪先端部に当接する前記レフタープレートの先端にフランジ部を形成したことを特徴とする座席移動装置。

3. 発明の詳細な説明

本発明は座席を取付台に対してスライド移動することができる装置に関し、特に2ドア車の後席の乗員の乗り降りのための前席ウォークイン型スライド機構の改良に関するものである。

一般に2ドアの乗用車においては、乗降口は前部座席側方附近のみに設けられているから、乗員が後部座席へ乗降する際にはこの乗降口を利用しなければならない。このため、後席へ乗降する際

には前席のシートバックを前方へ傾倒せしめると共にシート全体を前方に移動して後席乗降用の乗降口を可及的に広げる方式、所謂ウオーキングタイプが従来から多用されている。したがって、この方式の座席機構にあつては、シート全体、換言すればシートクッションを前後にスライドするための機構、シートクッションを任意のスライド位置にロックするための機構およびシートバックが前傾されたときあるいは手動操作レバーが作動されたときに前記ロックを解除するための機構等が必要となる。又、場合によつては一度シートを前方にスライドして後席の乗員が乗降した後、シートを後方に移動させれば元のシート位置あるいは所定のシート位置にシートが自動的にロックされる等の記憶機構も装備されている。

3

一对のロアレール1、1が固定され、座席MのシートクッションY<sub>1</sub>の下面に固着されたアッパーレール2、2がロアレール1、1上を滑動できるように取付けられている。一方のロアレール1とアッパーレール2間にはリターンスプリング3が掛合され、座席Mを前方に附勢している。また、他方のロアレール1とアッパーレール2の一部には本発明装置の要部を構成する係脱機構4が設けられている。この係脱機構4はシートバックY<sub>2</sub>の傾倒作動あるいはシートクッションY<sub>1</sub>の下端に配設された操作レバー5の手動作動によりロアレール1とアッパーレール2を固定状態あるいは自由状態におくもので、次にその詳細を説明する。

第2図乃至第4図に示すように、前記ロアレール1は両側部に外側に突出したフランジを有する

5

ところが、従来のこれらの機構は夫々別個の機能を有する部品、例えばロック用のラッチ爪と記憶用のメモリ爪等を別部品として構成しているので、部品点数が増大し構造が複雑になる等の欠点がある。

本発明は以上の事情に鑑み、シートを任意のスライド位置にロックするためのラッチ爪と、シートを所定の記憶位置に復帰させる際に作動するラッチ爪とを一体形成してしかも構成を単純にしラッチプレートに設けることにより部品数を低減しかつ単純な構造とした座席移動装置を提供するものである。

以下、図面に示す実施例により本発明を詳細に説明する。第1図は本発明装置の全体を示しており、例えば2ドア自動車のフロア内に前後方向に

4

断面略コ字状部材として形成され、長手方向に並んで複数のスライド調節孔/aが形成されている。前記アッパーレール2は両側部に内側に突出したフランジを有する断面略コ字状部材として形成され、前記ロアレール1にコロ6等を介して摺動可能に嵌合されている。前記係脱機構4は、前記アッパーレール2に取着されたラッチブラケット7を有しており、このラッチブラケット7は一侧面をアッパーレール2に接した後、横方向に突出延長されると共に一隅部は上方向に折曲げられてフランジ/aが形成されている。又、前記ラッチブラケット7には前記した操作レバー5の回転量を規制するストップバク8が突出形成されている。前記ラッチブラケット7の上面には、前記スライド調節孔/aに係合できるラッチ爪9aと、後述

6

するレフタブレート13に当接する略三角形のメモリ爪δbとを板状部材の折曲加工により一体形成したラッチプレートδが、ピン16により回動可能に軸支されている。またラッチプレートδは前記フランジ7aに掛渡された引張ばね9により、第2図乃至第4図において水平時計方向の回動習性が付与されている。前記ラッチプレートδの上側には前記操作レバー5が同軸支持され、下方に折曲形成された係合爪εaは前記ラッチプレートδの一縁切欠部εoに当接し、外方に突出された係止爪εbは操作レバー5の反時計方向の回動により前記ストップバク16に衝当するよう設定されている。なお、この操作レバー5は乗員の手操作によつて反時計方向に回動されるものである。また、シートバックY<sub>2</sub>の傾倒作動により引張されるよう

7

レールノの長手方向に測つた寸法)を有し、座席Mを所定位置に復帰させるために座席M、ロアレールノ、アッパーレール2、ラッチプレートδ等の相互取付位置関係に鑑みて取付箇所が定められているものである。

本発明装置は以上の構成であり、次に作用を説明する。先ず後席乗員が後部座席から乗降する際の装置作用について述べれば、第5図(a)に示すように、シートバックY<sub>2</sub>をリクライニング装置(第1図に符号10で示す)を作動して前傾すると、ワイヤ10の内部芯線10aが引張され、第5図(b)に示すようにラッチプレートδは引張ばね9に抗して反時計方向に回動され、ラッチ爪εaがスライド調節孔ノaから離脱される。これによりアッパーレール2とロアレールノとは自由な関係になり

9

シートバックY<sub>2</sub>の一部等に一端が掛止されたワイヤ10の内部芯線10aの他端は、前記ラッチプレートδに固定されたブラケット11に掛止され、ワイヤ10の外部被覆10bは前記フランジ7aに取着されており、内部芯線10aが引張したときにラッチプレートδが反時計方向に回動するようになつて

いる。一方、前記ロアレールノの所定箇所下底面にはコ字状のレフターブラケット12が固定され、レフターブラケット12には両側先端に傾斜して形成されたフランジ12aを有するレフタープレート13が上下方向に揺動できるようレヤフト14により枢支され、かつばね15により先端部が上方向に回動する習性力が付与されている。このレフタープレート13はロアレールノに対して所定の巾寸法(ロア

8

リターンズスプリング3の作用とも協同して座席Mを前方にスライドすることができる。後席乗員が乗降を終えた後にシートバックY<sub>2</sub>を復帰するとワイヤ10も復帰されるが、座席Mが前方にスライド位置されている時にはメモリ爪δbがレフタープレート13の先端縁に当接しているのでラッチプレートδは復帰せず、ラッチ爪εaとスライド調節孔ノaとの離脱関係は維持されている(第6図(a)、(b))。次に第7図(a)の如く座席Mを後方にスライドすると、レフタープレート13の後縁部からメモリ爪δbが外れ、同図(b)のようにラッチプレートδが引張ばね9により時計方向に回動してラッチ爪εaがスライド調節孔ノaに係合する。かかる場合レフタープレート13はロアレールノに位置固定されているから、ラッチ爪εaは特定のス

10

スライド調節孔ノaに係合し、常に座席Mを所定の位置に復帰させることになる。(ノaはレフタープレート13の上より後方に一般に前3後4の数の孔を有している。)以上の作用の中、メモリ爪12bがレフタープレート13に当接してラツナ爪12aとスライド調節孔ノaとの係合が阻止されている状態を斜視図で示せば第8図のようになる。

なお、第5図乃至第8図においては操作レバー5の図示は省略してある。

一方、操作レバー5を手動操作して前座席Mを前後にスライドする作用は次のとおりになる。第9図に示すように操作レバー5を反時計方向に回転すると係合爪5aがラツナプレート12の切欠部12cに当接し、第11図に示すように係止爪5bがストッパ12bに衝突する角度θだけラツナプレ

11

第13図は、前記各作用におけるメモリ爪12bとレフタープレート13との当接作用およびメモリ爪12bの押下作用をスムーズなものとするために、メモリ爪12bの先端部を湾曲形成したものであり、三角形の場合よりも作用がスムーズに行なわれる。

以上述べたように本発明の座席移動装置によれば、ラツナ爪とメモリ爪とを一体形成してなるラツナプレートと、ラツナプレートの作動を選択的に規制するレフタープレートとを有し、ラツナプレートを操作レバー又はシートバックの前傾作動により連動作用させることにより、ウオークイン時の座席移動および定位置復帰、着座時の座席移動を行なうことができるので、従来の装置と比較して構造を簡単にするとともに部品点数を減少す

13

ート12を回転する。これにより、ラツナ爪12aはスライド調節孔ノaから離脱され前述した作用の場合と同様に座席を前後にスライドすることができる。このとき、スライド位置によつてはメモリ爪12bとレフタープレート13とが当接する位置関係になるが、メモリ爪12bは三角形に形成されているからレフタープレート13の両側先端部に設けられたフランジ13aを第10図及び第12図に示すように下方に変位させながら移動することができ、レフタープレート13の存否に拘らず任意の位置にスライド位置できる。操作レバー5の手動操作を停止すれば、ラツナプレート12は引張ばね12dにより回転復帰してラツナ爪12aが再びスライド調節孔ノaに係合し座席をロック状態にすることになる。

12

ることができる等の効果がある。

なお、本発明装置のレフタープレートを取外せば普通のスライド機構として使用することができる。

#### 4. 図面の簡単な説明

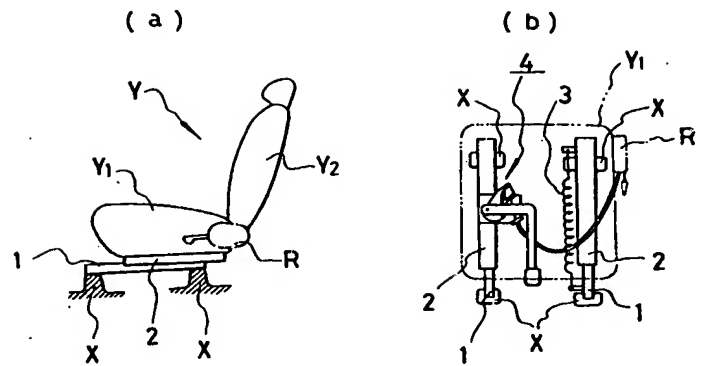
第1図は本発明による座席移動装置の(a)側面図、(b)平面図、第2図は(a)要部分解斜視図および組立断面図、第3図は組立斜視図、第4図はその平面図、第5図乃至第7図は作用を説明するための(a)概略側面図、(b)平面図、第8図は作用を説明するための斜視図、第9図および第10図は他の作用を説明するための平面図及び斜視図、第11図は斜視図、第12図は断面図、第13図は変形例の斜視図である。

ノ…ロザーレール、ノa…スライド調節孔、2

14

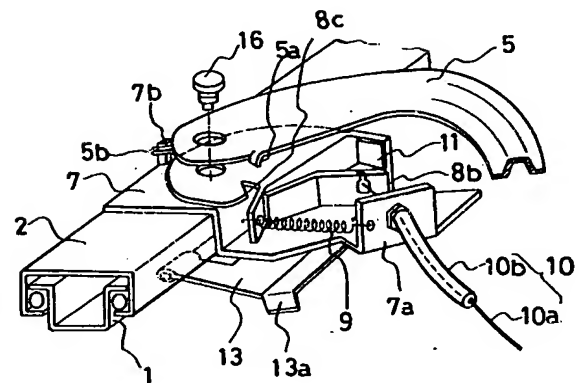
…アッパレール、3…操作レバー、8…ラッチ  
プレート、8a…ラッチ爪、8b…メモリ爪、13  
…レフタープレート、(M)…座席、Y<sub>1</sub>…シートク  
ッション、Y<sub>2</sub>…シートバック。

第 1 図

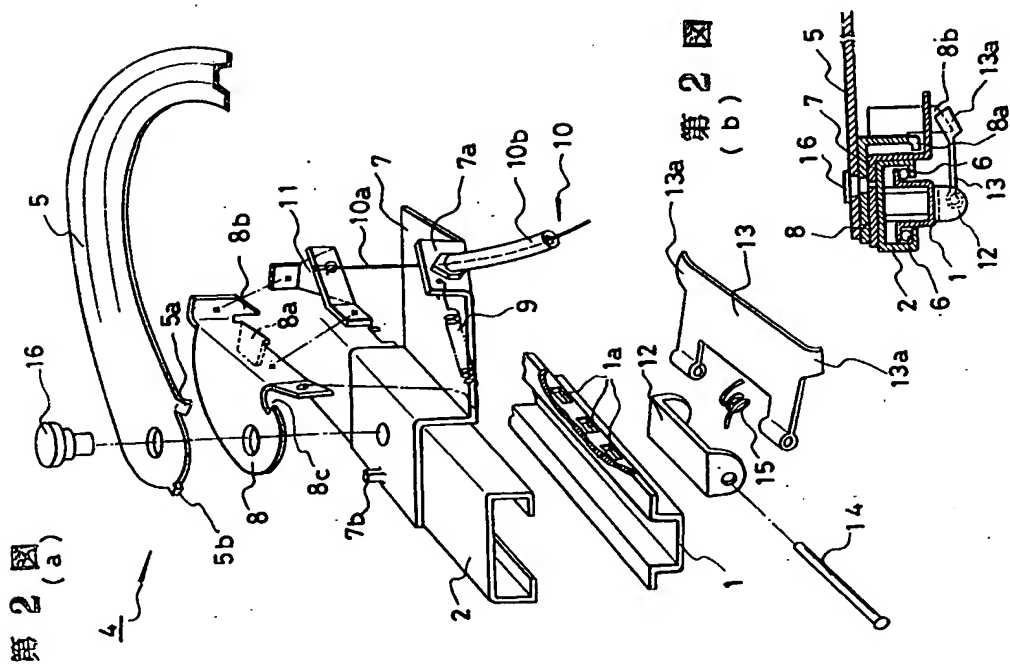


第 3 図

代理人 志賀富士弥



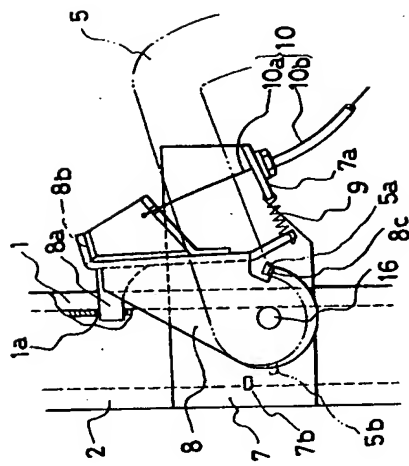
15



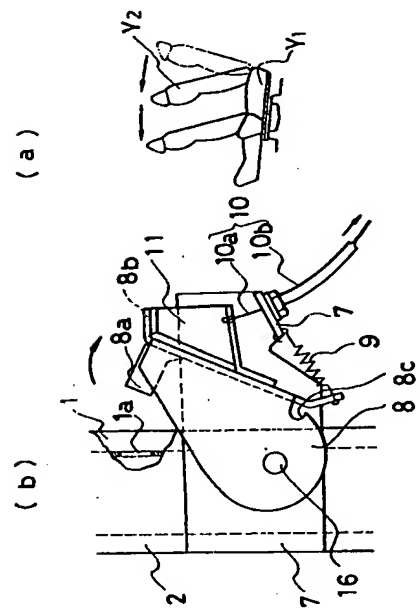
第 2 図 (a)

第 2 図 (b)

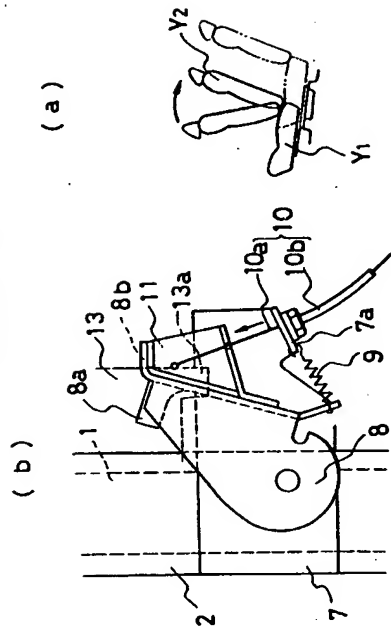
第 4 図



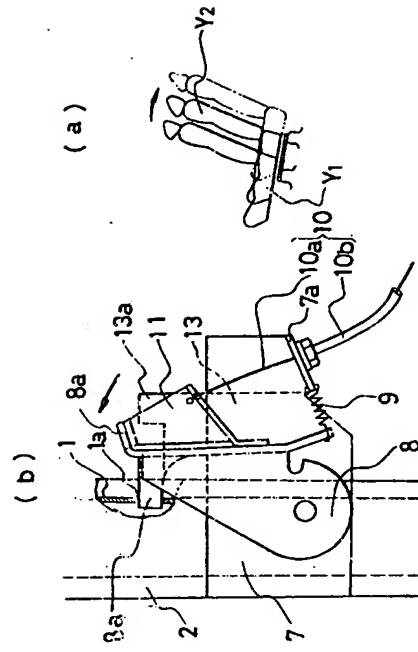
第 5 図



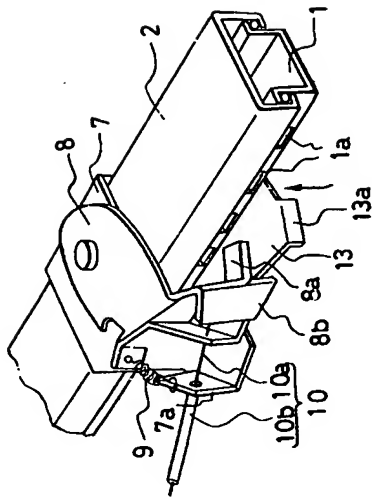
第 6 図



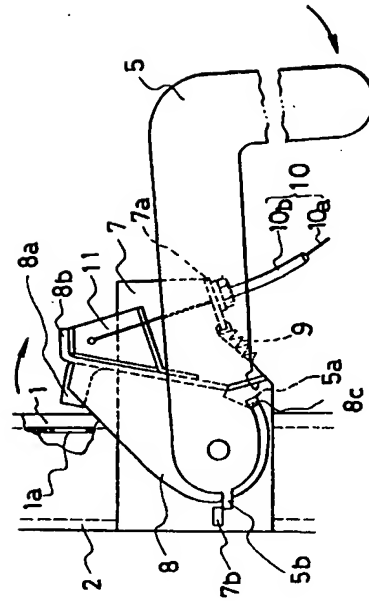
第 7 図



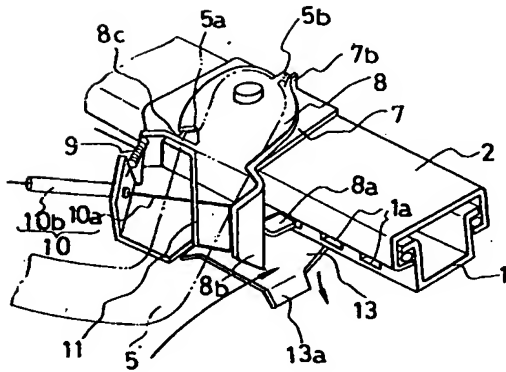
第 8 図



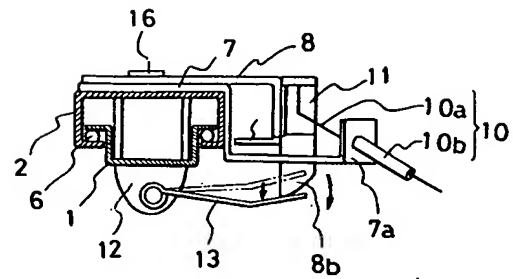
第 9 図



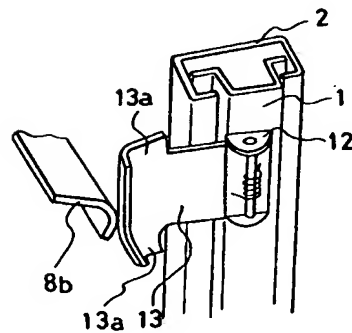
第10図



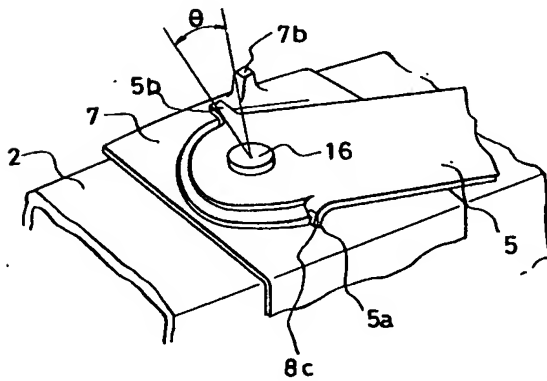
第12図



第13図



第11図



6. 前記以外の発明者、特許出願人

発 明 者

神奈川県横浜市神奈川区神大寺 8 2 9 - 8

イノベ カサキ 征  
誠 郎 孝 征



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☒ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**